

技術情報シート

1. 技術の名称	ドラム缶破碎システム
2. 技術の内容	ドラム缶に貯留された廃油、廃塗料、廃液等の処理困難物を焼却炉でサーマルリサイクルする為の前処理として、ドラム缶を開缶することなく直接投入し、搬送・破碎・混練・圧送の工程を経て、内容物を焼却炉へ供給するシステム。
3. 技術の概要	<p>【技術の目的・用途】ドラム缶に貯留された処理困難物を焼却炉へ自動的に供給する。</p> <p>【技術の特長】ドラム缶の廃棄物には、引火性の高いものや悪臭の強い取扱困難物があり、ドラム缶を1本ずつ開缶しての従来作業では、多大な時間と労力を要し、危険性も高い作業であった。本システムは以下の特長を有するため、安全に且つ、大量のドラム缶貯留物の処理が可能となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ドラム缶の状態で搬送から破碎・混練・圧送までを全自動で行うため、貯留物が人に触れることがなく、安全に処理が可能。 ②全自動システムであり短時間で多量の処理が可能。(480 本/日) ③破碎行程は、不活性ガスの注入により低酸素下で行われるため、爆発の恐れがない。 <p>技術の目的・用途、技術の特長、実績、価格</p> <p>【実績】国内産業廃棄物処理施設へ3件納入 【価格又はその問い合わせ先】 営業本部・村山龍太郎 電話：03-3642-8361 FAX：03-3642-6023</p>
4. 技術の分類	
①用途分類	産業系廃棄物処理、有害廃棄物処理、リサイクル(サーマル)
②対象廃棄物	紙・段ボール、廃プラスチック、医療系廃棄物、食品・生ごみ、建設廃棄物、廃油、その他
③提供役務	プラント建設、機械・機器販売、廃棄物処理サービス、コンサルティング、調査・データ処理、その他

5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	(特に指定なし)
6. 検索キーワード	ドラム缶、破碎、混練、圧送、産業廃棄物、廃油、廃塗料、廃液、処理困難物、自動供給リサイクル、前処理、医療廃棄物、有害廃棄物
7. 問合先窓口・担当者	株式会社 IHI 環境エンジニアリング 担当者 : 営業本部 村山 龍太郎 問合先 : 電話 : 03-3642-8361 FAX : 03-3642-6023